

地方創生に資する高等学校改革

- 地域振興の核として高等学校教育の質の向上に取り組む。
- 高等学校と市町村、地元企業、大学等が連携し、高校生に地域課題解決等を通じた探究的な学びを提供する仕組みを構築し、成果を全国へ普及する。

高校生×地域課題

探究的な
学びを推進

高校生の興味・
関心を喚起

高等学校

- ・ 地域との協働による活動を学校の活動として明確化
- ・ 学内における実施体制を構築

- ✓ 地域における活動を通じた探究的な学びの実現(新たな学習指導要領への対応)
- ✓ 学校の中だけではできない多様な社会体験

都道府県教育委員会等

- ・ 高等学校の取組を支援、伴走
- ・ 教職員の研修等を通して知見を他の高校へ普及

地域



コンソーシアム

- ・ 身に付けるべき資質・能力の共有や教育プログラムの開発
- ・ 学校と地域とをつなぐコーディネーターを指定

- ✓ 高校生のうちに地元地域を知ることにより、地元への定着やUターンが促進される
- ✓ 地域の活動に高校生が参画することにより、地域活力の向上へ貢献

高校生と地域課題のマッチングを効果的に行うための仕組みを構築

KPIを設定
PDCAサイクルを推進

コーディネーター



- ・ 非営利法人職員
- ・ 公民館主事
- ・ 大学教員
- ・ P T A 代表
- ・ 地元産業界代表 等

- ・ 高等学校と市町村等との協働体制の構築
- ・ 学校や地域とのマッチングを実施